

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 2月 7日

所属・職名	商経学部・専任講師	氏名	松崎 朱芳
研究課題	都市外縁部における交通の現状と課題		
研究キーワード	交通政策、地域政策、地理情報システム	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>日本における交通の経済学・経営学的な研究は、地域という区分ではやや希薄であった。その中で都市や地方という地域の区分に基づく研究はこれまでもいくつか見られていたが、さらに細分化した都市外縁部という地域に着目した研究を行った。</p> <p>2019年度は2018年度に実施したヒアリング調査に加えて、文献調査を実施し、成果報告書（都市圏郊外衛星都市を中心とした公共交通政策の研究、高橋愛典、2019年4月、近畿大学 WORKING PAPER SERIES）としてまとめることができた。2019年度におけるその他の研究の成果は学会報告を2本実施し、そのうち1本の研究は、査読誌に掲載されることになった。他にテキスト1冊、学術書1冊、論文を2本の成果を上げることができた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>【著書】交通経済、今城光英監訳・ジョナサン・カーウィー編著（共訳第3章担当）、成山堂書店 公共交通の維持、活性化に向けた地域の取り組みと課題、青木亮編著（共著第3章、第9章担当）成山堂書店</p> <p>【論文】The Geography of gravity、Yoo, Dong-Woo, Ko, Jun-Hyung, Matsuzaki, Akeyoshi Asia-Pacific Journal of Accounting & Economics、forthcoming、査読有 航空アライアンス間競争のモデル分析、米崎克彦・松崎朱芳、交通学研究、第63巻、2020年3月、査読有 地方における交通の通学支援施策に関する一考察北海道の事例から一、松崎朱芳、過疎地交通の新展開と地域コミュニティへのインパクト所収、forthcoming、査読無</p> <p>【発表】航空の非航空系収入の経済理論分析、日本交通学会第78回全国大会、2019年10月、東京女子大学 北海道における高校通学支援施策に関する一考察、日本交通学会第78回全国大会、2019年10月、東京女子大学</p> <p>3. 主な経費 統計分析のためにパソコン、GISソフトを購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【その他の活動】 第24回日本政策学生会議（ISFJ）2019政策フォーラム 論文審査員</p>			

(本文は1ページ以内にまとめること)